

科目名 (Eng)		ビジュアル情報基礎 (Basic Visual Communication)						
担当教員		脇田 淳一						
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報 学科	1	通年	必修	2	(60)	専門	C
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(E-2). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：5). 6).							
授業の概要と方針		情報化社会において伝達される情報は、その内容だけでなく視覚的効果への配慮も重要である。 本授業では、社会の様々な場所で活用される視覚情報について理解を深め、効果的なデザイン手法を磨くとともに、コンピュータを用いた情報視覚化の基礎を学び、自ら実践						
到達目標		①案内・標識・広告・webサイトなどの視覚情報に関して一般的な理解を深める。②洗練されたデザインにより自ら情報を視覚化する技術を磨く。③webサイトなど、コンピュータを用いた情報の視覚化に関わる学習・実践を行う。④コンピュータで作成したグラフなどを用いて、数値的な情報を効果的に視覚化する手法を学ぶ。						
授業計画								
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習	
前期	1	導入－現代社会と視覚情報	視覚情報とは何かについて理解する				e-classを用いて課題を提出する。 次の単元を予習する。	
	2	視覚情報の歴史(1)	近代以前の視覚情報伝達方法					
	3	視覚情報の歴史(2)	現代の視覚情報伝達方法					
	4	案内・標識の視覚情報(1)	公共の場における視覚情報					
	5	案内・標識の視覚情報(2)	印刷物の視覚情報					
	6	案内・標識の視覚情報(3)	空間の視覚情報					
	7	わかりやすい案内・標識(1)	グループ発表の準備を行う					
	8	わかりやすい案内・標識(2)	グループ発表を通して相互に理解を深める					
	9	広告・図説の視覚情報(1)	広告の役割					
	10	広告・図説の視覚情報(2)	広告の視覚情報					
	11	広告・図説の視覚情報(3)	図説の役割					
	12	広告・図説の視覚情報(4)	図説の視覚情報					
	13	効果的な広告・図説(1)	グループ発表の準備を行う					
	14	効果的な広告・図説(2)	グループ発表を通して相互に理解を深める					
	15	前期のまとめ	期末試験の講評と前期のまとめ					
後期	16	webデザインの基礎(1)	webサイト作成の基本				e-classを用いて課題を提出する。 次の単元を予習する。	
	17	webデザインの基礎(2)	レイアウトのワークフロー					
	18	webデザインの基礎(3)	ページ制作の考え方					
	19	webデザインの基礎(4)	色・文字・グラフィックの基本					
	20	webデザインの基礎(5)	課題提出・まとめ					
	21	webデザインの基礎(6)	提出課題の講評とこれに基づく改良					
	22	発表と視覚化(1)	グラフ作成の基本					
	23	発表と視覚化(2)	視覚的効果を考慮したグラフ作成					
	24	発表と視覚化(3)	視覚的効果を考慮したグラフ配置					
	25	発表と視覚化(4)	視覚的効果を考慮した表作成					
	26	発表と視覚化(5)	視覚的効果を考慮したプレゼンテーション作成					
	27	発表(1)	発表の準備を行う					
	28	発表(2)	発表を通して相互に理解を深める					
	29	発表(3)	発表を通して相互に理解を深める					
	30	視覚情報－まとめ	期末試験の講評と一年間のまとめ					
試験について		中間試験は実施しない。期末試験は50分の試験を実施する。						
評価方法		課題・小テストを70%、定期試験を30%とする。						
教科書		『デザイン・レイアウトのセオリー』佐々木 剛士・グラフィック社						
参考書								
関連科目								
履修上の注意		前期は視覚情報に関する幅広い知識を涵養し、後期は主にコンピュータを用いた情報の視覚化を学ぶ。評価の大部分は課題・小テストにより行うので、授業・発表には必ず出席、積極的に参加し、課題をもれなく提出すること。課題の一部はグループで発表する。						